

自由民権記念館企画展

「中江兆民と『三酔人経綸問答』—1世紀の時をへて出現した自筆草稿—」

・10月8日(土)～12月25日(日) ・2階 特別展示室 ※常設展示観覧券必要

記念講演会

中江兆民と『三酔人経綸問答』 自筆草稿の意義

講師 国文学研究資料館教授 谷川恵一氏

『三酔人経綸問答』は、中江兆民の代表的著作です。

このたび新たに『三酔人経綸問答』の自筆草稿が発見され、国文学研究資料館の所蔵となりました。これは従来まったく知られていなかったものであり、兆民がこの著作をどのように書き進めていったかを、知ることができる貴重な資料です。

今回の記念講演会では、この草稿について、兆民の推敲の跡をたどり、兆民自筆とされる高知市立自由民権記念館所蔵の『策論』などとも比較しながら、『三酔人経綸問答』が出版された明治20(1887)年にさかのぼって分かりやすく紹介します。



自筆草稿
国文学研究資料館所蔵

『三酔人経綸問答』当館所蔵

- 2016 (H28) 年 10月8日 (土) 午後2時～4時
- 自由民権記念館 研修室 (高知市棧橋通4丁目14-3)
- 入場無料・駐車場あり・どなたでもご自由に参加できます。

主催 高知市立自由民権記念館 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館
《お問い合わせ》高知市立自由民権記念館 TEL 088-831-3336